



## 年末の挨拶

本願寺沖縄別院輪番 久留島智祐

# うちなー

浄土真宗本願寺派  
発行 本願寺沖縄別院 (浦添本願寺)  
発行人 久留島智祐  
〒901-2132  
沖縄県浦添市伊祖 5-10-1  
電 話 (098) 877-3276  
ファックス (098) 877-4242  
mail ameku2182@yahoo.co.jp

本願寺沖縄別院並びに有縁の皆さまには、別院の護持発展に各段のご協力を賜っておりますこと、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。このたび、11月1日付の人事発令にて、本願寺沖縄別院輪番を拝命いたしました久留島智祐と申します。前任地は、京都の西本願寺の飛地境内である日野誕生院(京都市伏見区)で主管の任にあ

たり、併せて隣接の誕生院保育園の園長をしておりました。この度、沖縄のご縁をいただきましたことは、ひとえに仏祖のお導きであると賜っております。甚だ未熟ではございますが、皆さまのお力添えをいただきながら、お念仏繁盛のため微力を尽くしてまいります。おかげさまで、沖縄の地に赴任して一か月が過ぎようとしております。温かなご縁に支えられながら、皆さまと心を通わせていけるように努めてまいります。何卒よろしく願い申し上げます。本年7月には、県営平和祈念公園・平和の丘において、「太平洋戦争全戦没者・沖縄戦終戦80年追悼法要」が厳修されました。戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて心に刻む機縁となったことと思います。皆さまのご支援とご協力に御礼を申し上げます。

さて、令和7年も残すところわずかとなりました。今年一年を振り返りますと、世界には様々な出来事が起こり、皆さまの暮らしも喜びや悲しみ、困難や学びが交錯する一年であったのではないでしようか。そのような中でも、私たちは阿弥陀さまのお慈悲のもと、お念仏に生かされてきた一年を思い返し、そのご恩に感謝しながら、何かと慌ただしい年の瀬を心穏やかに過ごしたいものです。そして、来る令和8年もまた、お念仏をよりどころとして、自己共に心豊かに生きることできる社会の実現に向けて、皆さまと共に歩みを重ねてまいりたいと思います。これから、別院の諸活動につきまして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年末のご挨拶とさせていただきます。

## 久米島布教所 報恩講法要

島のご門徒と日曜学校生がお参り  
子どもたちは紙すきし、はがきづくりを楽しんだ



親鸞聖人のご命日(1月16日)に阿弥陀さまのみ教えを聴聞させていただくのが報恩講法要です。久米島布教所では11月15日(土)に「宗祖親鸞聖人報恩講法要」を修行しました。

### 読経と法話

お参りの皆様とともに読経し、職員による法話では日曜学校の子

どもたちに、昨今北海道や本州で問題になっているクマによる被害についての話をしました。

法話をした職員は、自身の実家の地域にクマが出没しており、人身被害はまだないものの、自分も市街地や山中でクマを目撃した経験があると話しました。子どもたちにもどう思つか尋ねると、「クマは怖いから可哀想だけれども命を奪わなければ」、「追い払うだけでもいいんじゃないか」、「見たことがないからわからない」、など様々な意見が出ました。職員は「答えに正解はなく、共存は難しいことですが、共生していることを忘れてはいけません」と話しました。

### 紙すきで「はがきづくり」

法話の後、子どもたちと一緒に紙すきによる年賀はがきづくりをしました。はがきづくりは、今年で3回目です。この日は晴天だったので、屋外で行いました。

材料は牛乳パックと型だけ。牛乳パックの収集は、参加者家族にもご協力いただきました。牛乳パックの表裏層をはがした内側の紙を使用するので、事前に3日間ほど水に浸しておいてもらいました。

はじめに、子どもたちと苦労しながら表裏層をはがしました。はがした紙を手で小さくちぎります。



① ミキサーで紙をとがす



② 型に入れて紙すきをする



③ 天日で干す

これをミキサーに入れ、水を入れながら何回も攪拌します(写真①)。攪拌した液を型に入れて、紙すきをしします(写真②)。

昨年・一昨年も参加した子どもはつくり方を思い出しながら、初めての子は苦労しながらも、皆それぞれ5枚ほど、はがきをつくりました。はがきは日光で干し(写真③)、タオルでくるんで持ち帰り、家で干していただきました。

来年の11月頃にも、また報恩講の場で、年賀状づくりをする予定です。みなさんも手作りはがきで年賀状を送ってみませんか。





内藤師の力強いお話に  
うなずいてお聴聞される皆さん

宗はお聴聞をして阿弥陀さまの撰取不捨(摂め)取って捨てない)のおはたらきを喜び、お徳を讃嘆する

沖縄別院では9月23日(火)に秋季彼岸会・秋の永代経法要を執り行いました。  
お彼岸は年に2度あります。3月の春分の日、9月の秋分の日を中日とした前後3日、それぞれ7日間ずつの仏教週間です。浄土真宗はお聴聞をして阿弥陀さまの撰取不捨(摂め)取って捨てない)のおはたらきを喜び、お徳を讃嘆する  
る(たたえる)ことから「讃仏会」とも呼ばれます。  
永代経法要は亡くなった故人をご縁とし、永代にわたり阿弥陀さまの教えが伝えられていくことを願う法要で、秋季彼岸会と併せて執り行いました。  
ご講師には大分教区下毛中組法行寺住職の内藤昭文師をお招きしました。「念仏申す慶び」をテーマに、ご参拝の皆さんにわかりやすく仏教そして親鸞聖人についてお話しいただきました。皆さんはうなずきながらお聴聞されていました。  
沖縄別院においては、毎年春秋のお彼岸に合わせて「彼岸会・永代経法要」を修行しています、皆さん、ぜひご参拝ください。



除夜会終了後 除夜の鐘



24時 除夜の鐘

沖縄別院 久米島布教所 除夜会 除夜の鐘

今年も12月となり、まもなく年の瀬も押し迫ってきます。  
沖縄別院と久米島布教所では12月31日(水)に除夜会(今年最後のおとめ)をし、除夜の鐘を撞きます。  
この一年のお念仏生活を振り返って阿弥陀さまの恩徳に感謝し、新年もお念仏とともに生きる決意を阿弥陀さまの前で新たにしましょう。  
沖縄別院(浦添本願寺)  
23時 除夜会(おとめ)  
除夜会終了後 除夜の鐘  
久米島布教所  
23時30分 除夜会(おとめ)  
24時 除夜の鐘

謹啓 深秋の候 皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。 私儀

このたび、十一月一日付人事発令により本願寺沖縄別院輪番・沖縄県宗務事務所長を退職することになりました。

在職中は、新型コロナウイルス感染症の拡大により日々の生活の中で様々に影響がありました。沖縄特区及び本願寺沖縄別院の「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」並びに「太平洋戦争全戦没者・沖縄戦終戦八十年追悼法要」を無事に修行することができました。これもひとえに、沖縄特区内寺院の住職様をはじめ僧侶・寺族・門信徒の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申しあげます。

顧みますと、一九八三(昭和五八)年に本山宗務所に入所以来、別院・教務所を含め四十二年七ヶ月間微力ながら宗務推進に尽力させて頂くことができました。特に戦後八十年を迎え、沖縄の地で「非戦・平和」について取り組む機会を得たことは私にとってかけがえのない縁でした。今度は、大阪府豊中市に西本願寺が設立したアソカ幼稚園の園長に就任させて頂きますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

二〇二五(令和七)年十一月

学校法人アソカ学園  
認定こども園 アソカ幼稚園 園長

中岡 順忍



合掌

## 旧盆法要つとまる

納骨堂も連日多くの親族で賑わう

今年の旧盆は9月4日(木)〜6日(土)でした。旧盆は旧暦のお盆で、沖縄では旧盆に盛んにお墓参りがおこなわれます。沖縄別院では例年と同様、旧盆中は毎日午前10時から本堂において旧盆法要を執り行いました。多くの方がご参拝され、皆さんは阿弥陀さまの前でお焼香し、手を合わされました。  
別院1階の納骨堂では、この時期ならではの温かい賑わいが見られました。遠方に住む家族も帰省して親族一同でお参りされることが多く、納骨堂は大変多くの人で



まず本堂で法要にあい、納骨堂に参られる皆さん

あふれました。期間中はより多くの方にご参拝いただけるよう、閉堂時間を通常の午後5時から午後6時に延長しました。  
来年の旧盆も同様に法要を執り行う予定です。旧盆のご縁にどうぞ沖縄別院にお参りください。